

2025 年度 第 3 回 CPC研究会

日 時 : 7 月 18 日 (金)

会 場 : 連合会館 402 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11)

参加費 : 維持会員・大学官公庁関係＝無料 / 非会員＝30,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30～14:55

「ダイヤモンド電極の応用展開」

慶應義塾大学 栄長 泰明 氏

- 1) はじめに
- 2) ダイヤモンド電極の作製と電気化学特性
- 3) 高感度環境計測・生体計測への応用
- 4) CO₂還元・有用物質合成への応用
- 5) おわりに

ホウ素を高濃度にドーピングしたダイヤモンドは、導電性をもち、電極として用いると優れた電気化学特性をもちます(ダイヤモンド電極)。このダイヤモンド電極は、耐久性にも優れ、次世代の機能電極材料としてさまざまな応用展開が期待されています。ここでは、高感度電気化学センサーとして、環境計測、医療応用へ展開している例や、カーボンニュートラルに向け、CO₂を原料として 100%の電解効率で有価物を合成できる例など、最近の展開について紹介します。

15:05～16:30

「導電性カーボンブラックの特徴と応用

～用途、高導電化技術、SDGs型炭素材料～

機能性カーボンファイラー研究会 前野 聖二 氏

- 1) 導電性カーボンブラックとは？～製法、構造、特徴～
- 2) 導電性カーボンブラックの用途事例と高導電化手法

(ニューパワーソース分野、導電性樹脂複合材料)

- 3) 新規導電性炭素素材_技術トレンド

導電性カーボンブラックとはなにか？導電性カーボンブラックの特性を十分理解し、目的とする用途に応じた配合設計をすることが特徴ある製品を生み出すポイントとなります。本講演では、導電性カーボンブラックの構造や特徴といった基礎編から、分散性、導電性を決定する因子はどのようなことかなどの応用編について説明します。また、昨今注目を集めているターコイズ水素副生炭素、廃タイヤ副生炭素等 SDGs型炭素材料についても紹介します。

7 月 18 日の第 3 回研究会に参加します(連合会館 402 会議室)

ご所属 : ☐維持会員 ☐非会員 ☐大学関係

お名前 :

Tel:

Fax:

E-mail:

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 03-6759-3981